注　意　事　項

1　本競技会の競技規則は２０２６年日本陸上競技連盟競技規則を適用し、併せて、友の会ルール（別紙参照）を準用する。

2　招集については、以下のように、各々の競技場所で行う。
- 競技場東門を入った右側の招集所で、競技開始３０分前から２０分前とする。
- フィールド競技については、その競技場所で、競技開始の２０分前から１０分前に最終コールを兼ねて行う。

3　本大会におけるリレーのオーダー用紙の提出は、各リレーの招集完了時刻の４０分前までとする。

4　競技場は全天候舗装なので、９㎜以下のスパイクピンを使用すること。

5　トラック競技の腰ナンバーカードは使用しない。各自レーンを間違えずに走ること。

6　トラック競技は、すべてタイムレース決勝とする。

7　スタートについては、不正スタート一回失格の適用対象外の競技会とし、併せて、友の会ルールを準用するが、スタートの合図は英語とする。(「On your marks」,「Set」)

8　トラック競技はクラウチング・スタートとする。(スターティング・ブロックを使わないこともできる。)
但し、３年生以下の５０ｍは、スタンディングスタートとする。

9　ハードル競技は、以下の規格とする。

	距離	高さ	個数	ｽﾀｰﾄ～1 台目	ハードル間	10 台目～ﾌｨﾆｯｼｭ
５年・６年	８０ｍ	０．７０ｍ	９台	１３．００ｍ	７．００ｍ	１１．００ｍ
４　年	８０ｍ	０．６０ｍ	９台	１３．００ｍ	７．００ｍ	１１．００ｍ

１０　フィールド種目の試技回数は以下のとおりとする。
（１）走高跳は、一つの高さの試技を３回とする。
（２）走幅跳とジャベリックボール投は、試技を３回とし、トップ８は行わない。

１１　走高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。但し、天候等による変更も考慮する。
＜男・女＞
４年生　＝　(練習　0.80)　0.85　0.90　0.95　1.00　1.05　1.10　・・・・・
５年生　＝　(練習　0.90)　0.95　1.00　1.05　1.10　1.15　1.20　1.25　1.30　以降 3cm ずつ
６年生　＝　(練習　0.90)　0.95　1.00　1.05　1.10　1.15　1.20　1.25　1.30　以降 3cm ずつ

１２　競技中の選手への声掛けは、いかなる場合も助力とみなされるため、失格となる恐れがある。よって、試技中、あるいは試技前後の声掛けは禁止とする。

１３　ジャベリックボール投の試技の際は、ボール本体を持ち、ｵｰﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞｽﾛｰで投げること。羽根だけを持って投げることは禁止する。なお、ジャベリックボール投の助走距離は、１５ｍ以内とする。
ジャベリックボール投げのサイズ基準は以下の通りとする。
３年生以下＝78×288㎜(青・白)、４年生以上＝87×320㎜(赤・白)。

１４　表彰および記録掲示等について
（１）各種目８位まで表彰とするが、賞状については競技終了後３０分後を目処に本部にて代表者に渡す。
（２）各種目の記録はアナウンスで通告し、掲示は行わない。記録については、速報サイトにて随時公開する。

１５　競技場に到着した際の受付について
（１）競技場への選手の入場については、東門入口でアスリートビブス（ナンバーカード）を提示する。
（２）スタンドへの選手・コーチ・保護者の入場については受付を行わず、出入り自由とする。
（３）フィールド種目についてコーチエリアを設置する。コーチエリアでの指導を希望する場合には、朝のチーム受付の際に申請し、専用の ID カードを受け取るようにする（要返却)。走幅跳については、スタンド最前列通路、走高跳・ジャベリックボールについては、各ピット後方付近にコーチエリアを設置する。

１６　競技場使用上の注意点

※競技場横駐車場は競技役員専用とします。なお、午前９時を目途に一般にも開放とします。

※参加者・付き添い者等の駐車場（日本福祉大学第７駐車場、砂利駐車場）への入場は、午前７時００分からとする。必ず厳守すること。

※スタンド開門時刻も、午前７時００分です。厳守してください。

※　東門の開門時刻については、午前７時３０分とします。

（１）正面スタンドの中央部分及び２階ホワイエについては、譲り合って使用すること。

（２）正面スタンドは来場者全体に開放する。

（３）競技場開門後、朝のウォームアップについては、午前８時４５分まで、トラック、フィールドとも使用を認める。その際、指導者等の入場を認め、児童の指導を許可する。

（４）競技開始後は、競技およびウォームアップ、クールダウンの際は、東門からグラウンドに出入りする。(その際、競技者以外の入場は認めない。コーチや引率者はフェンスの外側から指導をすること。)

（５）スタンド内外での移動の際には、急いだり走ったりしないこと。なお、その際に生じた怪我等については、主催者は責任を追わない。

（６）競技場周りのフェンス沿いについては、テントの設営も可とする。ただし、クギ・ペグ等は用いず、重石等を利用のこと。(別図参照のこと。)

（７）**スタンドで観覧する際には、着座して観覧すること。**

（８）**トラック種目のスタート時には、静かにすること。**

（９）競技等でグランドに向かうときは、各自の荷物が混同しないように、自分の荷物を入れる袋（少し大きめのビニール袋等）を持って行くこと。(シューズなどを無くしたり、取り違えたりしないため。)

（10）ウォームアップ等を行う時、「バックストレート・エリアの第５レーンから外側のトラックの利用」を原則とし、逆走はしないこと。そして、その場合には当該審判の指示に従うこと。

（11）オールウェザートラックは高温となるので、裸足では競技をしない。なお、体調の管理には、水分補給等をして、健康に十分注意をすること。(熱中症等には十分気を付けること。)

（12）正面スタンド本部前には、特段の用事がない限り、競技役員以外は立ち入らないこと。

（13）競技中に生じたケガ等について、応急処置はするが、以後の責任は負わない。

（14）競技出場者は競技の進行に協力し、競技役員の指示に従うこと。

（15）競技場のトイレについては、正面スタンド１階及び公園内のトイレを使用し、ルールを守ること。なお、競技中等の場合は、審判に申し出て、メインスタンド下のトイレを使用すること。
※　また、競技場外の公園トイレを利用するときは、他の公園来園者にも配慮すること。

（16）ゴミ等は、必ず各自で持ち帰ること。

１７　本競技会は、競技者の人権に配慮するため、カメラ等での撮影は基本的に認めない。撮影を希望する場合は、大会本部に申し出て許可を得ること。

１８　迷惑行為については、その行動を「著しい他者への迷惑行為」と主催者が判断した場合、速やかに警察および関係機関に通報する。

日本福祉大学 第７駐車場へのアクセス　及び　第７駐車場から競技場へのルート案内

Google Map

美浜競技場 HP

美浜競技場 Instagram